

平成25年度にエームス試験を実施した物質に関する 遺伝毒性の総合評価について

1 これまでの経緯

(1) WG での評価及び試験の実施

平成 25 年度の遺伝毒性評価 WG では、既存情報を利用した遺伝毒性評価を実施した。

WG での評価により、「エームス試験が実施されていないため、判断保留」又は「(エームス試験は実施されているが) 遺伝毒性の有無の判断困難」とされた物質のうち、試薬の入手可能な 33 物質について、平成 25 年度の委託事業によりエームス試験を実施した。

(2) エームス試験結果の評価

平成 26 年度第 1 回遺伝毒性評価 WG (4 月 18 日開催) において、上記 33 物質のエームス試験結果の評価を行った。

その結果、33 物質の試験方法はいずれも妥当であり、29 物質が陰性、4 物質が陽性と判断された。また、陽性の物質の最大比活性値も妥当と判断された。

2 今回 (第 2 回 WG) の作業

【平成 25 年度に実施したエームス試験の結果】及び【平成 25 年度に実施した遺伝毒性に関する文献調査の結果】を踏まえて、33 物質それぞれについて遺伝毒性の総合評価 (①~⑤のどれに該当するかの判断) を行う。

- ①遺伝毒性なし
- ②弱い遺伝毒性あり
- ③強い遺伝毒性あり
- ④遺伝毒性はあるが、強弱の判断不能
- ⑤遺伝毒性の有無の判断困難